

エネルギー起源 CO2 排出量検証ガイドライン 新旧対照表

(H28.5)

改正後	改正前
<p>全般 (温対計画書に算定資料を添付することとしたことに伴う修正)</p> <p>表追加による表番号の修正</p> <p>P.14 <u>例外として、利害関係のない第三者が作成した最新の資料により、確認が可能な場合は認める。</u></p> <p>P.18 <u>なお、特定計量器が存在する計量器の種類で特定計量器以外の計量器による実測値を使用している場合は保守的な算定をした後の数値と一致するかを確認する。</u></p> <p>P.19 <u>検証</u></p> <p>P.22 (削除)</p> <p>P.62-64 (記載内容の全面見直し)</p> <p>P.72 表 2-17 (都市ガス熱量の変更予定を記載)</p> <p>P.81 <u>(第 1 計画期間)</u></p> <p>P.84-89 (高効率コジェネの受入について新規記載)</p>	<p>全般 (温対計画書に算定資料が添付されていなかったため、検証対象が2種類あった)</p> <p>表追加による表番号の修正</p> <p>P.14 (追加記載)</p> <p>P.18 (追加記載)</p> <p>P.19 <u>検定</u></p> <p>P.22 <u>高効率のコージェネレーションシステムを利用した場合の削減量の計算結果、</u></p> <p>P.62-64 (記載内容の全面見直し)</p> <p>P.72 表2-17 (追加記載)</p> <p>P.81 (追加記載)</p> <p>P84-89 (新規記載)</p>

P.93

保守的な算定を採用する場合には、算定資料には保守的な算定をした後の使用量を記載する。

A号詳細報告書

サンプリング検証を選択した燃料等の種類

C号様式

(第2計画期間に合わせた改正)

D号様式

(都市ガス供給会社の追加)

東京電力

実測方法

P.93

保守的な算定を採用する場合においても入力方法は・・・第2計画期間の場合のみとする。

A号詳細報告書

選択の理由

C号様式

(第2計画期間に合わせた改正)

D号様式

(都市ガス供給会社の追加)

一般電気事業者

検定等の有無